

2015
秋号

福井市議会議員

八田いちい

議員活動報告



2015秋号

発行者 八田一以
〒910-0826 福井市上中町29-38-1
Tel 090-4680-0849
Fax 0776-54-0849

福井市の発展

市民の幸福

八田一以



地方版総合戦略について

【平成27年6月一般質問】

福井市が人口減少対策として策定を進めている地方版総合戦略の中で、最も重要な施策は、経済・産業の成長のための施策である。喫緊の課題としては、地方創生特区制度を活用し、福井・福井北インターチェンジ付近の開発を開始すべきであり、かつ、地域の豊かな自然と農地・水、素晴らしい地域共同体と両立する形で、規制緩和・開発することが必要と考える、福井市の見解はいかがか。

(福井市の回答)

本市では、今年度、市長をトップとする企業立地推進会議を設置し、産業用地の確保等について協議している。

その中で、高速道路インターチェンジ周辺は厳しい土地利用規制があることから、産業用地として活用するために、規制緩和を進めることが課題である。地方創生特区制度の活用は、規制緩和を進める有力な手段であり、この手続きを通して規制を緩和したいと考えている。



2015. 6. 9
東京参議院議長公邸にて、
山崎正昭参院議長に陳情

県都デザイン戦略の推進について

【平成27年6月一般質問】

県都デザイン戦略として、養浩館庭園・福井城址から足羽山までの地に歴史資源をつなぐ回廊を形成し、新たな観光ポイントにするため、由利公正広場を整備し、グリフィス記念館を建設している。しかし、それだけでは、福井市の宝物・財産である幕末・明治の偉人達を公正に偏りなく、後世に引き継ぐ私達の責任は果たせない。例えば、岡倉天心の菩提寺は、東藤島地区の西超勝寺にあって「回廊」から外れているため、観光客は、天心が福井の誇る偉人だとは思ってもよらないのではないか。有識者会議を組織してはどうか。

また、小学生の副読本「ふるさと福井の人々」の改訂をお願いしたい。例えば、岡倉天心についての記述には多くの誤り・不適切な表現がある。

(福井市の回答)

県都デザイン戦略全体の中で、歴史散策エリア「歴史資源をつなぐ回廊」を設定し実施している。これを推進したい。有識者会議の設置は、また別に議論すべきものと考えます。

「ふるさと福井の人々」については、改訂を検討する。

国民健康保険税の賦課方式について

【平成27年7月予算特別委員会】
 国保税の賦課方式は、全国一律ではなく、未だに四方式なのは、県庁所在地では、鳥取・徳島・香川・福井の四つしかない。福井市は、平成21年に「最終的には資産割と平等割を廃止して二方式を目指す」と答弁している。現在、福井市としては、どのように考えているのか、伺いします。資産割を廃止する方向で検討しているのか、どうかですが。

(福井市の回答)

資産割を廃止すると、その減収分を補う検討も必要である。賦課方式については色々な状況を考える必要がある。平成三十年には福井県が財政主体となる。そのときに県から標準的な国保税率が示されるので、その動向を注視しつつ、類似都市の状況、広域化の問題等も考慮しながら考えたい。平等割は被保険者ごとに課税する均等割を補完(負担緩和)する役割がある。

福井市の固定資産税について

【平成27年7月予算特別委員会】
 固定資産税は、誤った税額でも納税者が誤りに気付くことは難しい。過去3年間で固定資産税の過大請求が全国



2015. 8. 12
 総務委員会委員として
 埼玉県戸田市を視察
 「戸田市政策研究所」



2015. 8. 11
 総務委員会委員として
 福島県郡山市を視察
 「原子力安全対策」

で25万件あったことが判明している。福井市の場合、課税のためのコンピュータシステムは正確性維持、データ入力時の人的な入力ミスの根絶をどう担保しているのか伺いたい。プログラムミスや入力ミス以前のミスとして、入力する元の台帳への記帳相違もある。固定資産台帳と現場実態との突合せをどうするか。

(福井市の回答)

システム上のミス、入力ミスがないよう厳正にやっている。固定資産台帳と実態との全件突合せの予定はないが、努めて実態との突合せをやっている。

学校のガラス飛散防止フィルムについて

【平成27年7月予算特別委員会】
 東藤島小学校体育館は、地震等時の避難所であるが、余震等で体育館のガラスが割れた場合、二次災害になる。体育館のガラスを強化ガラスにすると、ガラス飛散防止フィルムを貼るとか、ガラス飛散防止フィルムを貼るとか予定はないのか。

(福井市の回答)

今年で耐震化工事が完了する。現在、ガラス飛散防止フィルム等工事の予定はないものの、検討する。



都市計画道路松岡菅谷線について

〔平成27年9月一般質問〕

福井市が平成30年の福井国体までに整備することを目標にして、福井農林高校から追分町までの道路拡幅工事を行っている。しかし、国体までには全体の3分の1しか整備できない。

つまり、国体の開催期間中も、松岡菅谷線の交通渋滞は解消できないことが明らかである。せめて、未整備区間の交差点、特に広域農道との交差点だけでも広げてもらえないか。福井市の名誉も懸かっている。

また、道路用に土地を提供した地主には、丁寧な説明（住民税額は増えないが、介護保険料額はやむなく増える）をお願いしたい。

〔福井市の回答〕

松岡菅谷線の道路拡幅工事は、福井国体までに、第一期工事として、農林高校から追分町までの約800メートルを広げる計画である。第二、三期工事は、それ以降になる。要望は理解でき、検討するものの、工事を実施する旨の約束はできない。

土地を提供した方へは、今後とも丁寧な説明を心がける。



都市計画道路松岡菅谷線の状況
平日の午前7時半頃追分町付近

福井市の財政健全度について

〔平成27年9月一般質問〕

福井市の財政健全度については、私は、総じて心配していない。実際、790全都市中414位と中位にランクされてもいる。しかし、福井市が先進的な都市になるには、財政健全度も上位にある必要があると考える。

実際、福井市の借金依存度は、全都市中、下から数えた方が早い。この6年、福井市民一人当たりの借金は増え続け、福井市民一人当たりの純資産は減り続けていく。但し、市長の市政は間違っていない。福井市の将来のための投資は必要で、一時的に借金が增えることもありうると思う。

しかし、借金は減らさなければならぬ。25年度は借金の利子返済だけで19億円ある。無駄無用の支出だ。第七次総合計画では、財政健全化、市債残高の削減を目標に入れて、できることは何でもやる覚悟が必要である。

〔福井市の回答〕

平成28年3月末の臨時財政対策債を含めた市債残高は、1504億円の予定であり、過去最高になる。第七次福井市総合計画には、財政健全化のための計画を盛り込む予定であり、借金を減らす努力を続けたい。

市税の収入未済金について

【平成27年9月一般質問】
 市税等の徴収率の向上や滞納額の削減は、福井市財政の安定的な財源確保と市税等負担の公平性確保にとって極めて重要な、徹底的な対策をもって、福井市が取り組むべきテーマである。平成25年度は、前年度に比べて、福井市の未収金の回収、不納欠損額の削減努力が顕著にみられると、私は評価している。そこで、市税等の収入未済金の解消に向けた体制が、福井市が整っていることを説明願いたい。

1. 滞納担当部署を全庁的にバックアップする仕組み・体制があること
2. 滞納発生後のトレスのフォロー
3. 担当部署のストレスのフォロー
4. 市のトップが先頭に立つこと

(福井市の回答)
 未収金対策については、東村市長就任後、全庁的体制が整備された。以降、改善しており、平成26年度は、25年度に比べて更に、滞納額削減の実績が向上した。
 (上記1〜4につき丁寧な説明あり)



2015.9.2
 藤島町の西超勝寺にて
 天心忌を開催
 記念講演 八田一以
 「岡倉天心先生の少年時代」

AEDについて

【平成27年9月予算特別委員会】
 AEDを購入せず、リース契約とする理由は何か。また、AED収納ボックスを採用して配置してどうか。玄関や出入口さらには施設外に設置するよう勧めることにしてはどうか。

(福井市の回答)

リースは、手数をかけない、費用を平準化する、総コストで遜色ない等のことから採用している。AED収納ボックスは検討する。玄関・出入口設置は勧める。施設外設置はリスクがある。

ガス事業について

【平成27年9月予算特別委員会】
 ガス事業の業況と平成29年度のガス小売り自由化対策について、また、25年度から始まったガス水道料金の徴収業務委託への評価、ガス料金の延滞対策、BS上、固定資産残高が借金残高を上回るのはいつからか。

(福井市の回答)

業況・業績は順調推移。繰越損失は8億円台まで削減。自由化対策は検討中。業務委託は、当初見込みどおりの効果あり。不納欠損額は、売上高の0.1%。固定資産が借金残高を上回るのは平成35年度の見込み。